

問1 川が山から平地に出るところで、水の流りが急にゆるやかになり、運ばれてきた土や石が積もってできる扇形の土地を何といいますか。

1. 扇状地 2. 三角州 3. 砂丘 4. 盆地

問2 遊水地は、どのようなときにどのような役割をする場所ですか。

1. 日照りで川の水が少なくなったとき、田んぼや畑に水を送るために、水をたくわえる。
2. 川の水をきれいにするために、水の中のゴミやどろを沈めて取り除く。
3. 川の水が増えたとき、人が住む場所に水があふれないよう、一時的に水をたくわえる。
4. 川の流れを速くして、上流から流れてきた土砂を海まで一気に押し流す。

問3 長い間雨がふり続いたり、短い時間に大雨がふったりしたとき、川の水の量はどうなりますか。

1. 減る 2. 変わらない 3. 増える 4. なくなる

問4 流れる水の量を減らしたとき、水の流れる速さと、けずられて運ばれる土の量はどうなりますか。

1. 水の流れる速が遅くなり、けずられて運ばれる土の量が少なくなる。
2. 水の流れる速さが速くなり、けずられて運ばれる土の量が多くなる。
3. 水の流れる速さは変わらないが、けずられて運ばれる土の量が多くなる。
4. 水の流れる速が遅くなるが、けずられて運ばれる土の量は多くなる。

問5 大雨によって川の水の量が多くなったとき、川の水が土地を削ったり土や石を運んだりするはたらきはどうなりますか。

1. はたらきが大きくなる 2. はたらきが小さくなる 3. はたらきが完全になくなる 4. はたらきはまったく変化しない

問6 しゃ面がおわる、川の流れがゆるやかな場所で、流れてきた土が積もっていくはたらきを何といいますか。

1. 土が積もるはたらき 2. 土地をけずるはたらき 3. 土を運ぶはたらき 4. 水をわき出させるはたらき

問7 平地で見られる川原の石の形には、どのような特徴がありますか。

1. 穴がたくさんあいていて、軽い。
2. 平らで、薄い板のようになっている。
3. とがっていて、ごつごつしている。
4. 角が取れて、丸みがある。

問8 川の水の量と流れの速さの関係について、ふだんの川と、大雨が降った後の川を比べた説明として正しいものはどれですか。

1. 大雨の後は水の量が減るので、流れが速くなる
2. 大雨の後は水の量が増えるので、流れが速くなる
3. 大雨の後は水の量が増えるので、流れが遅くなる
4. 大雨の後は水の量が減るので、流れが遅くなる

問9 雨がたくさん降るなどして、川の水の量が増えたとき、川の流れの速さはどのようになりますか。

1. 変わらない 2. 遅くなる 3. 速くなる 4. 止まる

問10 川の曲がっているところの外側のようすについて、正しく説明しているものはどれですか。

1. 岸はがけになっていることが多く、川底は深くなっている。
2. 岸はなだらかな坂になっていて、川底は浅くなっている。
3. 岸はがけになっていることが多く、川底は浅くなっている。
4. 岸はなだらかな坂になっていて、川底は深くなっている。

問11 川原の石が、山の中から平地、海の近くへと流される間に、形が丸く、大きさが小さく変化するのはなぜですか。

1. 流れる水の重さによって、石が押しつぶされて平らになるから。
2. 流される間に、石どうしがぶつかったりこすれ合ったりして削られるから。
3. 水の中にある栄養を石が吸収して、少しずつ溶けていくから。
4. 太陽の光を浴び続けることで、石が温められて縮むから。

問12 曲がって流れる川の内側の特徴について、正しく説明しているものはどれですか。

1. 水の流りが遅く、砂や小石がたまりやすい。
2. 水の流りが速く、砂や小石がたまりやすい。
3. 水の流りが遅く、岸が大きくけずられやすい。
4. 水の流りが速く、岸が大きくけずられやすい。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 1 せんじょうち 扇状地	川が山から平地に出る場所では、流れがゆるやかになって土や石が積もり、扇の形をした「扇状地」が作られます。
問2	答え 3 川の水が増えたとき、人が住む場所に水があふれないよう、一時的に水をたくわえる。	遊水地は、川の水が増えたときに、人が住む場所へ水があふれないように一時的に水をたくわえるために作られます。
問3	答え 3 増える	長い間雨がふり続いたり、短い時間に大雨がふったりすると、川に流れ込む水が多くなるため、川の水の量が増えます。
問4	答え 1 水の流れる速さが遅くなり、けずられて運ばれる土の量が少なくなる。	流れる水の量を減らすと、水をふやしたときとは反対に、流れる速さが遅くなって土をけずったり運んだりする力が弱まります。
問5	答え 1 はたらきが大きくなる	大雨で川の水の量が多くなると、土地を削ったり土や石を運んだりするはたらきが大きくなり、災害につながる可能性があります。
問6	答え 1 土が積もるはたらき	川の流れがゆるやかになると、流れてきた土が底に積もっていきます。これを土が積もるはたらき（たい積作用）といいます。
問7	答え 4 角が取れて、丸みがある。	平地で見られる川原の石は、山の中から流される間に角が取れて、丸みのある石になります。
問8	答え 2 大雨の後には水の量が増えるので、流れが速くなる	大雨が降ると川に流れ込む水の量が増えます。川の水の量が増えると、流れの速さは速くなります。
問9	答え 3 速くなる	川の水の量が増えると、川の流れは速くなります。そのため、雨が降った後の川は流れが強くなります。
問10	答え 1 岸はがけになっていることが多く、川底は深くなっている。	川の曲がっているところの外側は、水にけずられるため、岸はがけになりやすく、川底は深くなります。
問11	答え 2 流される間に、石どうしがぶつかったりこすれ合ったりして削られるから。	石が流される間に、石どうしや川の底とぶつかり合ったりこすれ合ったりすることで、角が削られて丸く小さくなります。
問12	答え 1 水の流れが遅く、砂や小石がたまりやすい。	曲がって流れる川の内側は、水の流れが遅いという特徴があります。そのため、流れてきた砂や小石が底にたまりやすくなります。